文京学院大学 News Release

報道関係者各位

2018 年 6 月 1 日
文京学院大学

超高齢社会の中での介護・医療・福祉を考える
利用者本位のケアを学ぶ公開シンポジウム開催
〜ひとりひとりができること・みつけていこう！〜

文京学院大学は、2018 年 6 月 16 日（土）、ふじみ野キャンパスにおいて、「利用者本位のケアを学ぶ」をメインテーマに、フリーアナウンサー町亞聖氏をファシリテーターに、当事者の方、ケアの第一線で関わっている方、本学の教授陣らが「ひとりひとりができること・みつけていこう！〜利用者本位の介護・医療・福祉〜」と題した公開シンポジウムを開催します。

公開シンポジウム開催について

超高齢社会の現在、要介護高齢者の増加や認知症対策などが社会的な関心となっています。介護サービスの種類も増え、利用者も増えてきていますが、しかし、各々の介護サービスが、利用者自身の声を反映しているとは十分に言えません。こうした背景から、今回、一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ代表理事であり、当事者として活動している藤田和子氏と、NPO 法人町田市つながりの開理事長で、先駆的な取り組みをしている前田隆行氏をシンポジストにお迎えして、認知症のこと、介護や福祉サービスの利用について現場の現状を伺います。また、ご自身のご両親の介護経験を踏まえ、医療、介護、福祉に関して様々な活動を通して、社会に発信しているフリーアナウンサーの町亞聖氏が、今回のシンポジウムでファシリテーターを務め、会場の参加者も含めた全体の意見交換などをとりまとめながら進行して参ります。さらに、今回のシンポジウムでは、本学保健医療技術学部の大橋幸子教授（老年作業療法学）と、藤谷克己教授（公衆衛生学・疫学）が、介護・福祉サービスとその中で生じているエイジズム（高齢者差別）問題について考察していきます。

公開シンポジウムの案内チラシ

当日概要

日　　時：2018 年 6 月 16 日（土） 13:00〜15:00
会　　場：文京学院大学ふじみ野キャンパス（〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保 1196） C203 教室
対　　象：一般の方・大学生・高校生
参 加 費：無料
申　　込：不要
定　　員：144 名

当日スケジュール

13:00	**開会**　　司会：鳥羽美香　文京学院大学人間学部　教授
13:05〜14:05	**【シンポジウム】** 「ひとりひとりができること・みつけていこう！〜利用者本位の介護・医療・福祉〜」 藤田和子氏 （一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ　代表理事） 前田隆行氏 （NPO 法人町田市つながりの開　理事長） ＜ファシリテーター＞ 町亞聖氏 （フリーアナウンサー）

14:05～14:10	休憩
14:10～14:25	【講演】 **「認知症リハビリテーションの考え方と現状について」** 大橋幸子　文京学院大学保健医療技術学部　教授
14:25～14:40	【講演】 **「介護における『医学モデル』の影響とエイジズム」** 藤谷克己　文京学院大学保健医療技術学部　教授
14:40～14:50	【講演】 **「韓国の高齢者・認知症ケアの現状とエイジズム」** 髙橋明美　明治学院大学社会学部付属研究所　研究員
14:50～	質疑応答・まとめ
15:00	閉会

＜シンポジスト紹介＞

藤田　和子（ふじた　かずこ）**氏：**一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ　代表理事
鳥取市で看護師として、総合病院に7年、個人病院に8年勤務。2007年、45歳で若年性アルツハイマー病と診断され、2010年、「若年性認知症問題にとりくむ会・クローバー」を設立。（2014年にNPO法人化、現在副理事長）
2011～2013年、鳥取市差別のない人権尊重の社会づくり協議会委員。
2014年10月、日本認知症ワーキンググループ設立に参加し、共同代表を務める。
2017年9年、一般社団法人化し、現職。
著書に、「認知症になってもだいじょうぶ！そんな社会を創っていこうよ」（徳間書店、2017年）。

前田　隆行（まえだ　たかゆき）**氏：**精神保健福祉士／NPO法人町田市つながりの開　理事長／NPO法人若年認知症サポートセンター理事／NPO法人認知症フレンドシップクラブ・アドバイザリーボード／一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ（JDWG）理事
通所介護事業所DAYS BLG！にて、当たり前のことを当たり前に、認知症を自分事として捉える次世代型のデイサービスを運営し、「働きたい」「役に立ちたい」「介護されるだけの存在から再び社会の一員として⇒利用者から生活者へ」等という想いをカタチにする活動をコンセプトとしている。主な著書『おはよう21』2014年11月号～2015年11月号（中央法規出版）、『地域リハビリテーション』2015年9月15日号（株式会社三輪書店）、他。

＜ファシリテーター　プロフィール＞

町　亞聖（まち　あせい）**氏：**1995年に日本テレビにアナウンサーとして入社。その後、活躍の場を報道局に移し、報道キャスター、厚生労働省担当記者としてがん医療、医療事故、難病などの医療問題や介護問題などを取材。また北京パラリンピックでは水泳メダリストの成田真由美選手を密着取材。"生涯現役アナウンサー"でいるために2011年にフリーに転身。脳障害のため車椅子の生活を送っていた母と過ごした10年の日々、そして母と父をがんで亡くした経験をまとめた著書「十年介護」を小学館文庫から出版。医療と介護を生涯のテーマに取材、啓発活動を続ける。（町亞聖公式ブログ　http://ameblo.jp/machi-asei/）

＜文京学院大学について＞

1924 年、創立者島田依史子が島田裁縫伝習所を文京区に開設。教育理念「自立と共生」を根源とする先進的な教育環境を整備し、現在は、東京都文京区、埼玉県ふじみ野市にキャンパスを置いています。外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部、大学院に約 5,000 人の学生が在籍する総合大学です。学問に加え、留学や資格取得、インターンシップなど学生の社会人基礎力を高める多彩な教育を地域と連携しながら実践しています。

本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先

文京学院大学（学校法人文京学園 法人事務局総合企画室）　三橋、鈴木　電話番号:03-5684-4713